



No. 283

2022
Mar.

3

奈良県自閉症協会 NEWS

きずな

The Kiyuna

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

発行人:

関西障害者定期刊行物協会

編集人: 奈良県自閉症協会

支部長&事務局: 河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料1部 100円

会員は会費に含まれています。



一九九六年五月一日第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

世界自閉症啓発デーを呼びかけるポスターにオレンジ色の髪をしたセサミストリートに登場する女の子が使われています。なまえは、「ジュリア」といいます。自閉症の特性を持つ4歳の子どもキャラクターとして登場しています。もともとジュリアちゃんは2015年からセサミストリートのストーリーブックに登場していましたが、本格的にテレビ登場したのは2017年4月からです。ジュリアちゃんが初登場の場面では、話しかけても、ハイタッチを求めても反応してくれないジュリアに「嫌われたのではないかと落ち込むビッグバードに、ヒューマン・キャラクターであるアランが、「ジュリアは自閉症なんだ」と説明します。「自閉症って何？」と

たずねるビッグバードに、「何か聞かれても、すぐには答えられないことがある」「期待している返事や対応をしてくれないこともある」「みんなとやり方が違う、ジュリアスタイルがある」「時々、みんなには理解しにくいことをすることも」と続けます。ジュリアを取り入れたセサミストリートの制作者の意図はインクルージョンであり、多様性の認められる社会、子供たちそれぞれの個性が輝く社会、そんな社会の実現を目指したいということだったようです。奈良県自閉症協会は2022年4月2日には、郡山城ブルーライトアップに合わせ、自閉症啓発のためのブースを設け、目印として大きなジュリアちゃんのポスターを掲載を予定していますので、自閉症児

者のご家族のみならず、関心をお持ちのどなたでもブースにお立ち寄り下さるとうれしいです。なお日本の厚労省は4月2日から8日までの一週間を「発達障害者啓発週間」と位置づけ、自閉症だけでなく、発達障害全般に関する理解促進のためのシンポジウムの開催やシンボルカラーの「青」を使った全国各地のランドマークのブルーライトアップなどの集中啓発活動を行っており、2018年から厚労省はジュリアをはじめエルモ、クッキーなどのセサミストリートキャラクターを啓発活動のポスターに起用しています。

(河村)

プロ野球年間シーズンシート(アドバンスチケット)の配布について(案内)

県では、スポーツを「観る」機会を創出することで、スポーツへの関心を高めるとともに、スポーツを始めるきっかけとなるよう「プロスポーツの観戦の機会づくり」に取り組んでいます。昨年に引き続き、今年も障害のある方や子ども達にプロ野球を観戦していただけるよう、「京セラドーム大阪」及び「ほっともっとフィールド神戸」共通のプロ野球

年間シーズンシートチケットを配布いたします。

つきましては、標記チケットを希望される場合は、別添の「プロ野球観戦チケット利用の手引き」をご確認のうえ、別紙1「利用申込書」により、3月25日(金)までに県障害福祉課社会参加促進係へお申込みいただきますようお願いいたします。なお、チケットの枚数には限りがありますので、希望枚数の上限は、15枚まででお願いします。ただし、申込多数の場合には、ご希望に添えないこともありますので、予めご了承

ください。(奈良県福祉医療部障害福祉課)※奈良県自閉症協会として10枚申し込んでいますので必要な方はお申し出ください。(河村)

プロ野球観戦チケット利用の手引き 企業等の社会貢献活動の一環として、県に寄附された「プロ野球年間シーズンシートチケット」を活用し、子どもや障がいのある人などのプロスポーツ観戦機会を創出することで、スポーツへの関心を高め、運動・スポーツに取り組むきっかけづくりを行うとともに、社会福祉の増進を図ることを目的とする。

<p>1 概要</p> <p>(1) 内容 プロ野球公式戦を無料で観戦できる「年間シーズンシート（アドバンスチケット）」を配布する。</p> <p>(2) 対象団体 ア 障がい者・児童福祉の増進に寄与する団体 イ 児童福祉の増進に寄与する団体 ウ ひとり親家庭等の福祉の増進に寄与する団体</p> <p>(3) 利用対象 子どもや障がいのある人（対象者1人につき、2人までの引率・介助者も利用可能）</p> <p>(4) 配布物 「年間シーズンシート（アドバンスチケット）」（事前引換タイプ）</p> <p>2 配布の流れー</p> <p>(1) 利用申込み 【申込方法】 別紙1「利用申込審」に住所・団</p>	<p>体名・代表者名等を記入し、申込締切日までに下記担当窓口へ提出してください。内容の集計後、配布枚数と日時の調整を行います。</p> <p>【申込締切】 令和4年3月25日(金)</p> <p>【担当窓口】 アの団体「県福祉医療部障害福祉課 社会参加促進係」イ・ウの団体「県こども・女性局こども家庭課 児童虐待対策係」</p> <p>(2) チケットの受領 上記担当窓口にてチケットを配布しますので、受け渡しの際には別紙2の「受領書」に受領者の住所・団体名・氏名等を記入し、受領印を押印のうえ、提出してください。</p> <p>(3) 利用報告書の提出 チケットの利用期間が終了したとき、もしくはチケットを利用しなくなったときは、速やかに別紙3「締り用報告書」を上記担当窓口へ提出してください。*未使用のチケット（利用の見込みが無いチケット）は</p>	<p>利用報告書の提出とあわせて返却してください。*利用報告書が提出されないなど、利用内容が明確でない場合は以降の利用について制限させていただきます。</p> <p>3 注意事項</p> <p>(1) チケットの目的以外の利用したり、有償無償を問わず第三者に譲渡したりすることはできません。</p> <p>(2) チケットの再発行はできません。</p> <p>(3) 試合観戦等により生じた事故(損害)等や、第三者に与えた損害については責任を負いません。</p> <p>(4) 試合観戦の利用申込み等については、利用者自身でお願いします。</p> <p>(5) チケットの枚数には放りがありますので、ご希望に添えない場合がありますことをご了承ください。</p>
--	---	--

東京都自閉症協会と日本自閉症協会から世界自閉症啓発デー ZOOM参加のお誘いがきています。

(河村)

全国の自閉症協会のみなさま 4月2日の世界自閉症啓発デーに向けてご準備もお忙しいところかと存じます。昨年に引き続き、東京都自閉症協会では都内の関係団体とTT実行委員会を組織し、2022年もYouTubeライブ配信を企画しております。

<https://www.youtube.com/watch?v=y3BCqsm-X54&t=4935s>

昨年、ご参加くださったみなさま、ありがとうございました。当日は是非、各地の自閉症協会方たちとつながることができればと思っています。4月2日の18:30ごろからzoomでつながりませんか。

スケジュールは16:45~18:45くらいを予定しており、前半は都内の企業・団体のブルー・アクションを紹介し、18:15~18:30は東京タワーの点灯式を配信します。18:30から、全国各地のブルー・アクションをZOOMでつなぎ、ご紹介いたしますので、ぜひ、参加していただけないでしょうか？リアルタイムでの参加が難しい場合は、事前に撮影した動画(90秒以内)でのご参加も可能ですので、吉田までご相談ください。

yoshida3@tc5.so-net.ne.jp ご参加いただける場合は、3月11日(金)までに吉田庸子(東京都自閉症協会) yoshida3@tc5.so-net.ne.jp 大岡(日本自閉症協会) ooka@autism.or.jp の両方にご連絡をお願い致します。どうぞご検討よろしくお願ひ致します。(吉田庸子 東京都自閉症協会 大岡千恵子 日本自閉症協会)

西陣麦酒などで有名な京都のHEROESさまからの情報です。(河村)

事業所移転および法人格の変更のご案内

拝啓 春分の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、HEROESでは、2014年より生活介護事業を、2019年より就労B型との多機能型として、事業を実施してまいりましたが、更なるサービスの安定および安心をはかるために、事業所の移転ならびに運営体制を変更する運びとなりました。つきましては、以下の通りご報告させていただきます。

記

① 事業所の移転について

現在：京都市上京区豎門前町4-1-4 西陣産業会館
移転先：京都市上京区大宮通今出川下ル薬師町234
(推定築150年近い京町家です)

② 法人格の変更について

旧法人格：特定非営利活動法人HEROES

新法人格：社会福祉法人菊鉾会

※いずれも2022年4月1日からの変更になります。

※連絡先 080-8345-4555、メール heores@762npa.jp
に変更はございません

HEROESのご利用者、職員は、そのまま活動を続けますので、引き続きのご支援を何卒よろしくお願いいたします。まずは、略儀ながら書中をもってご案内、ご挨拶申し上げます。 敬具 2022年3月吉日 特定非営利活動法人HEROES 理事長 松尾 浩久

===== 新法人の代表連絡先 =====

社会福祉法人 菊鉾会

〒606-8364 京都府京都市左京区新柳馬場通仁王門下
る菊鉾町316

TEL：075-752-4636 FAX：075-761-0955 URL：http://
www.kikuhokokai.or.jp/

常務理事 野村尊実、理事 松尾浩久



NHK 厚生文化事業団近畿支 局からの依頼2件

① 「発達性トラウマ障害と複雑性 PTSDの正しい理解と治療法」開催 のご案内

拝啓 早春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素はNHK厚生文化事業団の福祉事業に格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。私どもでは、生きる上でのさまざまな悩みや問題について、当事者の方と支援者や専門家がいっしょになって考える「ハートカフェ」をNHK大阪放送局で随時開催しています。今回はコロナ対策のため会場を大阪府男

女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)に移し、発達性トラウマ障害と複雑性PTSDについて学びます。最新の研究では発達障害とトラウマには複雑な関係性があることが分かってきました。また大人になって発症した複雑性PTSDの原因に、子どもの頃の不適切な養育があり、それがさらに親から子へと連鎖していることも指摘されています。講師には、発達障害と子ども虐待の親子併行治療を行っている福井大学子どものこころの発達研究センターの杉山登志郎医師を迎え、この障害の正しい理解と治療法を考えていきます。

4月9日(土)、午後2時から、参加は無料でどなたでも可能ですが、特に今子どもの頃のトラウマを抱えている方、また子育てに不安をお持ちの方など広くご参加いただければと思っています。つきましては、勝手ながらこの会のチラシを送付させていただきますので、ご関心のある方へご周知いただけると幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。 敬具

② 幼児・学童・思春期のこどもの発達相談会ポスター掲示のお願い
拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素よりNHK厚生文化事業団の社会福祉

事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当事業団近畿支局では、ことばの遅れ、学習障害、こだわりが強い、など発達に不安のある3歳から18歳(高校生)までの幼児・学童・生徒とその保護者の方を対象にした無料の個人相談会を行っています。大学教員、医師、特別支援教育士スーパーバイザー、言語聴覚士など各分野の専門家が、一組60分の個別相談に応じます。2022年度は、
第1回 5月15日

第2回 7月10日
第3回 9月11日
第4回 11月13日
第5回 4年1月15日の5回を計画しています。(いずれも日曜日)
会場は、大阪府中央区の大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)を予定しています。(第3回までは決定) つきましては、勝手ながらこの相談会のポスターを送付いたしますので、貴施設内に掲示いただくなど周知にご協力いただければ幸いに存じま

す。多くの子育て中の方々のお力になれればと思っておりますので、ご理解ご協力のほどどうかよろしくをお願いいたします。敬具 ※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては・急速中止とさせていただきます場合がありますので あらかじめご了承ください。
NHK 厚生文化事業団近畿支局支局長
種田敦志 〒540-0026 大阪府中央区本町1-2-5 YSKビル8F 電話
06-6232-8401

NHK から日本自閉症協会にたいして調査・アンケートの協力依頼

がきています。多くの皆様からのご協力をお願いします。(河村)

NHK、EテレのハートネットTVより、「公共放送の福祉番組としてのあり方を検討するための調査」の協力の依頼をいただいております。※以下依頼内容を転載させていただきます。設問は全部で47問で、所要時間は、モニターによるテストでは、およそ30~40分程度とのことです。なお、加盟団体様から会員の方への周知もぜひお願いしたいとのことで、期間は明確には定まっていないようですが、8月頃までは回答可能なようです。アンケートに関するご質問につきましては、下記のご担当の方までお問い合わせいただけますと幸いです。----ハートネットTV当事者調査 ご協力をお願い----このたびNHK・Eテレの福祉番組「ハートネットTV」では、番組で放送してきた様々なテーマの当事者、支援者、関係者の方たちの声から、番組がどのように見られているか/本当に必要な福祉番組はどのようなものかを調べる調査を行うことになりました。公共放送の福祉番組として伝えるべきことを伝えられているのか、今回の調査をもとに、私たちの足元をもう一度確認するとともに、今後の福祉番組のあり方を検討していきたいと思っています。ご多忙のところ大

変申し訳ありませんが、なにとぞご協力いただけますようお願い申し上げます。

【Web 調査フォーム】

<https://forms.office.com/r/qSa2et9hyC>

【かんたんな日本語版】

<https://forms.office.com/r/WODNfQKCU>

※上記以外に、ルビ付き版、プリントアウト版、テキスト版などもあります。必要な方は
ebisawa.s-gw@nhk.or.jp

または

〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK 制作局 第3ユニット福祉 TEL 03-5455-2941 FAX 03-3468-6139

調査窓口 丹野康平(たんの こうへい)までご連絡ください。

恐れ入りますが、どうぞよろしくお願いいたします。



2022年度

幼児・学童・思春期の こどもの発達 相談会

参加無料

NHK厚生文化事業団近畿支局では、ことばの遅れや発達に特性のある子どもとその保護者を対象にした無料の相談会を行っています。令和4年度は計5回の開催を予定します。

- ① ことばの習得が遅い、こだわりがある、パニックになる、落ち着きがない。
- ② ともだちと遊べないなどの発達に不安がある、また、文字の読み書きができない、漢字が書けない、計算が苦手など学習上に気になることがある。
- ③ LD (学習障害)、ADHD、自閉スペクトラム症などの特性がある。

上記に該当する満3歳から18歳・高校生までの幼児・児童・生徒とその保護者を対象に、各分野の専門家が1組60分の個別相談に応じます。

◆日時(各回共)午前10時～午後3時【1組 60分】

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により日程変更または中止とする場合があります。

会場

大阪府立男女共同参画・青少年センター・ドーンセンター (予定)
大阪市中央区大手前1-3-49 TEL.06-6910-8500

2022年(令和4年)

第1回 5月15日(日)

第2回 7月10日(日)

第3回 9月11日(日)

第4回 11月13日(日)

2023年(令和5年)

第5回 1月15日(日)

講師/大学教員、医師、特別支援教育士スーパーバイザー、言語聴覚士など各分野の専門家。

【参加申し込み】参加は無料ですが事前のお申し込みが必要です。申し込み用紙の請求方法など詳しくは、NHK厚生文化事業団近畿支局まで電話でお問い合わせください。

※応募いただいた個人情報は適切に管理し、この相談会に関する連絡にのみ使用いたします。
電話:06-6232-8401(平日・月～金10:00～18:00)

- ※申し込みは保護者(父母)からに限ります。
- ※各回とも開催日2カ月前の月の1日より受付を開始します。(休日の場合は翌日)
- ※先着順で定員になり次第締め切ります。
- ※講師は相談内容により選定いたします。相談者からの講師の指定はお受けいたしかねます。
- ※講師の選定にあたり、事前にお子さんの様子をお聞きする問診票などの提出をお願いします。
- ※原則お子様といっしょに参加ください。なお、当日は会場に託児を設けております。
- ※以前この相談会に参加された方は、最低1年、間を空けていただくようお願いいたします。



NHK厚生文化事業団
ホームページ

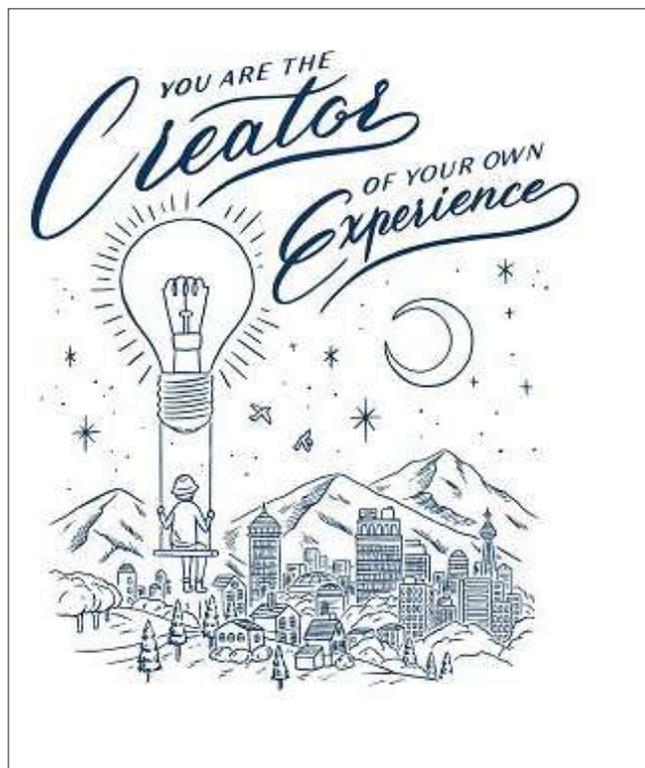
主催 / NHK厚生文化事業団近畿支局

後援 / 大阪府教育委員会、大阪市教育委員会

協力 / 大阪府共同募金会

奈 良県自閉症協会のメーリングリストに参加しておられる皆様にはお知らせしましたが、日本自閉症協会では今年も、JAMMIN チャリティTシャツ期間限定販売がありました。販売期間は2022年3月14日(月)～3月20日(日)の1週間限定だったので、購入できず残念だった方がおられると思います。また来年も実施されるだろうと思います。購入方法はWeb上で行われました。https://jammin.co.jp からご購入出来るようになっていました。このチャリティTシャツの販売はJAMMINさんとのコラボレーションのチャリティTシャツを1週間限定で販売するもので、1枚購入いただくごとに、700円が当協会に寄付されます。このお金は、日本自閉症協会の加盟団体をはじめ自閉症の方たちのための活動費として使われます。事務局からは4月2日の世界自閉症啓発デーに合わせて、応援をお願いします！情報の拡散にもご協力ください。とのメッセージがありました。

Facebook <https://www.facebook.com/asj.japan/>
twitter <http://twitter.com/asjoffice>



～(デザインのイメージ)～ JAMMINさんより～～～明るく灯る電気の気球に乗って、町を眺める人を描きました。自閉症のある人の才能や可能性が、社会や未来を明るく照らす様子を描いています。“You are the creator of your own experience”、「あなたこそ、あなたの経験(人生)を創るクリエイター」というメッセージを添えました。とのことです。～～～～～(河村)

令和4年3月17日

奈良県障害福祉課 奈良県のコロナ関連情報・障害者関連情報を提供します。

最新情報

○（3/16）知事定例記者会見 オミクロン株の特性と現在の感染状況に対応した奈良県医療提供体制の再構築に向けての意見交換を踏まえた経過報告

奈良県では、ウイルスの特性と感染状況を踏まえ、それに対応できる医療提供体制の再構築に向けて、医療関係者と検討を重ねてきました。

本日は、次の各点について、3月10日に開催した「第4回奈良県新型コロナウイルス医療対策会議」において医療関係者から頂いたご意見と、意見を踏まえた県の対応方針等について、ご報告いたします。

HTML <https://www.pref.nara.jp/60533.htm>

資料 <https://www.pref.nara.jp/secure/263839/20220316tjikaiken.pdf>

映像 準備中（出来次第、上記HTMLに掲載します）



○ 奈良県心身障害者歯科衛生診療所について

・奈良県心身障害者歯科衛生診療所では、一般の医療機関での受診が困難な障害者（児）に対する歯科診療を行っています。

・令和3年度4月より新しく常勤医を配置し、診療日及び時間を変更しました。

・また、治療内容について、通常の治療の他に、静脈内鎮静法による治療方法を取り入れ、不安や緊張を和らげリラックスした状態で治療を受けることができ、患者さんの身体への負担も少なく、一度に複数箇所の治療を安全・安心に受けていただくことができるようになりました。

・障害者の歯科診療についてお悩みの方は、是非お気軽にご相談ください。

・また、一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会の広報誌「瓦版「げんき」特別号」に歯科衛生診療所についての記事を掲載していただきました。

・診療方法や診療所の様子、診療の流れや、育成会会員様からの治療の体験談などが掲載されています。是非ご覧ください。

HTML <https://www.pref.nara.jp/24646.htm>

PDF <https://www.pref.nara.jp/secure/67208/genki-sika1.pdf>

<https://www.pref.nara.jp/secure/67208/genki-sika2.pdf>

<https://www.pref.nara.jp/secure/67208/genki-sika3.pdf>

<https://www.pref.nara.jp/secure/67208/genki-sika4.pdf>

以下は前回の情報提供時から変更ありません。

○（3/2）知事定例記者会見 オミクロン株の特性と現在の感染状況に対応した奈良県医療提供体制の再構築（経過報告）

HTML <https://www.pref.nara.jp/60280.htm>

資料 https://www.pref.nara.jp/secure/262116/coronachijikaiken_0302.pdf

映像 https://www.youtube.com/watch?v=z3hyn_IE5EU

○ 県民だより奈良

・新型コロナワクチンの接種について

HTML <https://www.pref.nara.jp/60212.htm>

PDF <https://www.pref.nara.jp/secure/261740/p13.pdf>

音声 <https://www.pref.nara.jp/secure/261740/11spot1.mp3>





毎年4月2日は世界自閉症啓発デーです

そして今年も“大和郡山市お城まつり”会場でブルーライトアップが実施されます

今年も春とともに世界自閉症啓発デー&発達障害者啓発週間がやってまいります。
新型コロナウイルス感染拡大で、社会の動きが変わったり見通しが不安定な昨今も、桜の花が春をの到来を忘れることなく伝えてくれるように、私たち家族たちがそれぞれどんな時も自分らしく暮らしていける社会を、毎年世界中が願うこの日を大切に思います。

◎今年も大和郡山市の全面ご協力を得て、4月2日午後6時～8時、大和郡山城跡にて開催されるお城まつりにてライトアップブルーを実施いただけることとなりました。

どうぞ、日本の桜の名所百景にあげられる大和郡山城跡の美しい夜桜と、ブルーライトアップに込められた自閉症理解への願いをこめ、青いものを身に着けて点灯の瞬間をご一緒に！
自閉症・発達障害関連の活動されている方々のPRやチラシなども受け付けます。

◎当日、お城まつり会場への来場者に、ライトアップブルーの由縁（世界自閉症啓発デー）のご紹介アナウンスをしてくださる方を大募集しております。当事者・ご家族・支援者のみなさま、会員に関わらず、是非ご自身の声を世界自閉症啓発デーの夜空にお届けください！

◎活動PRや場内アナウンスご協力いただける方は、下記のいずれかでご連絡願います

- ・ホームページ「NPO 法人奈良県自閉症協会」のお問い合わせフォームから
- ・メールにて: kawafune@ares.eonet.ne.jp まで
- ・face book: 「奈良県自閉症協会」もしくは「[Light It Up Blue Nara](#)」へのコメントにて
 - ①お名前
 - ②参加内容（アナウンス・PR・チラシ配布や掲示）
 - ③ご連絡先（メールアドレス・当日ご連絡のつく携帯電話番号など）をお知らせください。

◎当日の集合時間・場所

2022年4月2日（土）午後5時45分（ライトアップは午後6～8時）
大和郡山市お城まつり・天守台特設ブース

どうぞ皆様、世界とつながる青い夜空のもと、理解の輪を広げていきましょう！

世界自閉症啓発デーが近づくなかで、自閉症の特性をよく説明する記事がヤフー・ニュースに掲載されていました。横浜市の中野さんと三重県の中野さんのお話です。自閉症児者を取りまく社会一般の多くの人に彼らの特性が理解され、支援の輪が広まるといいですね。啓発の意味でこの文章を引用させていただきます。(河村)

「知らない国に放り投げられた感覚」自閉症の特性とは /4月2日は「世界自閉症啓発デー」

4月2日は、国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。自閉症のある人にはどんな特性があり、どんな生活を送っているのでしょうか。1968年に発足し、日本各地の自閉症児者の当事者及び保護者で構成される団体と連携しながら啓発活動や政策提言を行う「日本自閉症協会」。自閉症のある人と暮らす二つのご家

族に話を聞きました。JAMMIN = 山本 めぐみ)

「自閉症に対する正しい知識が広まれば」

最初にお話をお伺いしたのは、横浜市自閉症協会の代表を務める中野美奈子(なかの・みなこ)さん(57)。横浜市自閉症協会は1979年から活動し、今年で43年目を迎えます。会員の多くは自閉症・自閉スペクトラム症のある当事者の家族で、現在510名ほどが所属しています。「28歳の長男は重度の知的障害と自閉症を併せ持ち、26歳の次男は個性豊かな人です。最近では自閉症特有の症状や、そこに対して特別な支援が必要であることなども知られるようになってきましたが、一昔前は自閉症に対する知識や意識が皆無に等しく、その点で苦労もたくさんありました」中野さんの長男の進さん。「二語文程度の発語力と理解力です。自

閉症特性の中でも一般の方にわかりにくいのが感覚の問題で、長男の場合は偏食です。ご飯粒を食べることができません。米粒を食べる=我々が砂を噛むのと似た感覚のようです」「また近年、自閉症で知的障害のある人もそうでない人も、虹の帯のように連続した帯と考える新しい診断基準『自閉スペクトラム症』の広がりも出てきています。知的に問題がない場合、ぱっと見て障がいわかりづらく、『面倒な人』『わがままな人』と周囲から煙たがられてしまうような風潮がまだまだあります。『こういう特性の人たちがいるんだな』という正しい知識と理解が広がることで、寛容な社会が広がっていけばと思っています」特性が知られていないがゆえに「ルールにそぐわない」と集団からはじかれてしまうことも「自閉スペクトラム症のある人は、空気が読めなかった

り、すぐに物事を忘れてしまったりといったことがあります。また正義感の強い人が多く、マイルールでいろいろと進めてしまうところがあります」と中野さん。「たとえば、バスに乗った時にいつも同じ席に座りたいという子がいます。運転手さんのすぐ後ろの席に座りたくて、そこにすでに座っている人がいると『どいて』と言ってしまいます。自閉症の特性を知ると納得はできるのですが…、コミュニケーションをとることが難しく、そこで苦労することが少なくありません」「コミュニケーションが難しいので、困っていることがあった時、相手にそのことを伝えることも難しいようです。何でどう困っているかを本人が把握していないことも少なくありません。意思をうまく伝えられないことがストレスになってものを叩いたり蹴ったりしてしまい、『ルールにそぐわな

い』と集団からはじかれてしまうようなケースも、残念ながら少なくありません。」「何もわからない国にぼんと放り出されるような不安を抱えている」「春が近づき暖かくなってきた日に長男がストーブを点けていたので『ストーブお休み』と伝えると、その時は消してもまたすぐ点ける、そして私が注意をする。文字にして伝えたところ、納得(合意形成を得る)してくれました」「自閉症のある子を育てる親として感じることは、『わからないことに対する不安度がとにかくすごく高い人たち』だということ」と中野さん。日々の生活での工夫を尋ねました。「日々の暮らしでは、朝起きて、何時にご飯を食べて…という1日の流れがすでに決まっていて、そこと異なることが出てくるとやはりストレスに感じてしまうようです。見通しがついたり終わりが視覚的に見えれば、不

安は軽減されるようです」「ファーストフード店やコンビニに一緒に行くのですが、たとえば同じコンビニでも、A店とB店は本人にとって全く別の店です。何曜日に何店に、また誰と行くかということも紙に書いて共有しています。イレギュラーなことが発生する場合は、絵と文字を使って紙に書いたりスマホで情報を見せたりして説明をします。そうするとニコッと笑って理解しているようですから、改善のための手ごかりはあります。本人にとっては、『状況がわからないこと』がただただ不安なんですね」スケジュールを記載した紙。「自閉症のある人は、いつ、だれと、どこで、何をしたら終わり、そして次になにがある、というのがわかることが、心の安定につながるようです」「その状況を想像するに、私たちが知らない国に放り投げられるような不安感を抱いているのでは

ないかと思うんです」と中野さん。「言葉も何もわからない国にぼんと放り出されたら、私たちも非常に不安になりますよね。右も左も話している言葉もわからない中で、でもトイレのマークがあればトイレに行けるし、レストランや売店の看板が出ていけば、少なくともそこでそれが買えるとか食べられるということがわかります。そうやって確認できれば、不安は少し和らぎます」「看板も何もなかったらどうでしょうか。右も左もわからない国で、伝えられない、わからない、理解してもらえない…、自閉症のある人の日々の生活はそこに近いものがあると思います」「毎日のリズムやルールが体に入っていると、真面目で正義感が強く、個別のまめなサポートがあることによってより能力を発揮できる人たちです。あたたかく見守ってもらえたら嬉しいなと思います」

多動で会話のできない息子。「どんな将来があるのだろう」と不安だったもう一人お話を伺いました。

三重在住の中野喜美(なかの・よしみ)さん(72)の息子の元洋(もとひろ)さん(43)は、特別支援学校高等部を卒業後に一般就労し、社会人25年になります。現在は、自動車部品の製造会社で正社員として勤務しています。お話を伺いました中野さん。息子の元洋さん(写真右)、お孫さんと。「息子は料理を作るのも好きで、休みの日は献立を考えてお料理を作ってくれます」「息子は幼児の頃、目も全然合わず、言葉を発するのも遅かったです。しゃべり出しても会話にならず『何か違う、何かおかしい』と感じていました。といっても40年も前のこと、自閉症に関する知識は当時、そこまで浸透していませんでした」「小児科の

先生に『息子は自閉症というものではありませんか』と尋ねても『そんなわけない』と一蹴されました。病名もつかず周りの理解も得られず、息子はコマーシャルを吹き、私の事を母親だと分かっているのか、この子にはどんな将来があるのだろうか…と不安でした」5歳の時、小児精神科に特化した病院と出会ったことをきっかけに、同じ自閉症のある子を持つ親たちとつながることができた中野さん。「当時はまだこのような病院が少なく、全国からお子さんが通っていました。幼児から小学生の頃は奇声を発したり、多動で手を離せばどこかへ走って行って迷子になるので、気が休まらず必死でした。『集団の中での生活が、本人の成長にもつながる』という主治医の言葉もあって、周りに助けをもらいながら小中と普通学級に通いました」そんな中、元洋さんは次第

に「文字」に興味を持つようになったといいます。「街中の看板やよその家の表札などを読んで聞かせ、家で見てきた文字を書くとうれしそうにする姿を見て、『文字にこんなに興味があるなら、きれいな文字を書かせてあげよう』と思い、8歳から書道を習うようになりました。書道教室に通い始めて10年で初段を獲得し、今日に至るまで36年通っています」見通しがつくと、落ち着くことができる「自閉症はその特性に注目されがちですが、皆と同じこともたくさんあります」と中野さん。「同じ人間なので、自閉症であるとかないとかにこだわらず、あまり考え過ぎずにその人として付き合いもらった方が本人も楽なのではないかなと思います。ただ、困っている時に少しの手助けがあるとすごく生きやすくなるので、特徴を知ってくださる方が一人でも多いとありがた

いなと思います」では、どのような特徴があるのでしょうか。「息子はサプライズが苦手です。伝えたいことは文字にして伝えると、本人が納得しやすいです」「人それぞれですが、早口でパパッと言われたことは理解するのが難しく、耳からの情報よりも目で見た情報の方が入りやすいということがいえます。言葉は抽象的で不確かなところがあるので、息子の場合は、口で伝えるだけでなく紙にも書いて、目のつくところに置いて伝えます。目で確認できるので、本人は安心できるようです」「不安が強く、毎日何回も同じことを確認します。予定変更や想定外の出来事が苦手です。たとえば週末に買い物に行く予定がある時に、行くのか行かないのかという確認を何回もします」社会人25年。「たくさんの人に助けをもらい、長く続けてこれた」社会人になって25年の元洋さ

ん。「息子のことを理解しようと近づいてくださる方がいたことが、仕事がよく続いてきた理由だと思っています」と中野さんは話します。「息子はすごく真面目で根気よく仕事ができる人で、そういう意味では本当に恵まれたものを持っています。自閉症ながらも周りの方たちが助けてくださり、かわいがってもらえるのも真面目な働きぶりのおかげだと思います」「支援学校を出た後、最初の会社は13年ほど勤めました。リーマンショックや会社の合併などで転職を2回経験し、今の職場は8年目になります。長く続ける中で、1日をどのように進めていくかということ、本人の中でも把握できているのだと思います」「1日のスケジュールが見えていると落ち着いて生活ができます。自閉症のある人の特徴として、見通しがつくと安心できるということが言われています。会社で

仕事をすることは、毎日ほぼ同じで休憩なども時間通りなので、気持ちが楽で、落ち着いて仕事に集中できるのだと思います。逆に次に何をやるかわからないとか、内容が変則的な仕事などは向かないと思います」社員旅行でシンガポールへ。「楽しめる時間を、これからも」「習字を習い始めて20年の節目に念願の個展を開きました。友達や従姉妹などいろいろな人たちが実行委員会を作ってくれて、半年の準備を経て開催できました。先生と息子を囲み、実行委員の皆さんと撮った一枚

です」社員旅行でシンガポールへも行ったという元洋さん。『一緒に行って誰が面倒を見るんだ』というふうになった時に、部長さんが『僕は一緒に行きたいな』と教えてくださいました。ちょっと目をかけてくださる方がいれば、変わってくるんだなと思います。想定外のことですが、本人なりに外面があって、周りを見てついていたようです」「今は仕事も週末の休みも、本人なりに楽しく過ごしているようです。CDを集めるのが好きで、394枚という数のCDを彼なりに

に分類しています。私にはその分類も理解できませんが、本人が楽しめる世界や一人で楽しめる時間を持っていることが一番いいことだと思うので、何もいわずそっと見守っています」「先のことは見えないのであまり心配しすぎてもしょうがないと思っていますが、毎朝、暗いうちから張り切って出勤していく彼の姿を見送りながら、この先も今の暮らしを、なるべく続けられたらと思っています」(yahoo! ニュース3/16日より一部写真説明などを割愛)



世界自閉症啓発デー 関連イベント

●郡山城天守台ブルーライトアップ

「世界自閉症啓発デー」である4月2日には、自閉症をはじめとする発達障害への理解促進を目的として、世界各地の建物がブルー(青色)にライトアップされます。



郡山城天守台においても、自閉症や発達障害について広く市民のみなさんに知ってもらうことを目的に、ブルーライトアップを実施します。

日時=4月2日(土)18時~21時
場所=郡山城天守台

問合せ=厚生福祉課(内線535)・都市計画課(内線633)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または内容変更となる場合がございますので、予めご了承ください。

●自閉症関連書籍を紹介します

市立図書館に、自閉症関連書籍の紹介など、特設コーナーを設置します。

日時=3月28日(月)~5月2日(月)
市立図書館の閉館日を除く、9時30分~19時(土曜日は21時まで)

場所=市立図書館1階

問合せ=市立図書館(☎55-6600)

毎年 **4/2** は

国連の定めた
世界自閉症啓発デー

※国連が定める啓発デーには、3月21日の「世界ダウン症の日」もあります。

発達障害啓発週間 4月2日~8日

World Autism Awareness Day

**知っていますか？
私のこと。自閉症のこと。**

123 **SESAME STREET**

セサミストリートには、多様な豊かなキャラクターがたくさん登場します。オレンジ色の髪をした女の子のキャラクターは、自閉症の特性があるキャラクターです。

応援メッセージを
募集しています

日本各地で啓発イベントが行われます。詳しくは公式サイトへ

世界自閉症啓発デー 日本実行委員会公式サイト
<http://www.worldautismawarenessday.jp/>

啓発デー

#世界自閉症啓発デー

主催 厚生労働省(発達障害情報・支援センター) 一般社団法人日本自閉症協会

共催 文部科学省 国立特別支援教育総合研究所 全日本自閉症支援者協会 日本自閉症スペクトラム学会 日本発達障害ネットワーク 発達障害者支援センター全国連絡協議会 全国情緒障害教育研究会 全国児童発達支援協議会 自閉症児者を家族にもつ医師・歯科医師の会 国立重度知的障害者総合療育のぞみの園

お問い合わせ先 一般社団法人日本自閉症協会 Tel.03-3545-3380 Fax.03-3545-3381 asj@autism.or.jp

会計より・・・「令和4年度会費納入のお願い」

春の陽気になり、お出かけによい季節となりましたが、新型コロナに感染しないか不安で、気楽に外出をされることを我慢されていることと思います。一日も早い新型コロナの終息を願うばかりです。

さて、ご承知のとおり、東京本部へ(「いとしご」の配布料等)年度初(4/1)の在籍会員数で前払いする規定となっておりますので、ご理解頂き、5月末日までに会費納入にご協力のほど、よろしくお願い致します。

会費・納入先は下記のとおりです。

(会費)

- ① 個人正会員 ￥6000.-
- ② 賛助会員 個人 ￥3000.- 法人 ￥10000.-

(振込先)

㊦ ゆうちょ銀行
 口座番号：00980-0-225697
 名義：特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会

㊦ 南都銀行郡山支店
 口座番号：普通預金 1068978
 名義：奈良県自閉症協会 代表者 河村舟二

*お願い：振り込まれる時、(シャカイフクシホウジンやトクテイヒエイリカツドウホウジン)等の法人格名は、記載しないで下さい。

*住所や名前の変更があれば、下記、理事長河村さんまでお願いします。

事務局 理事長 河村舟二
 E-mail kawafune@ares.eonet.ne.jp
 電話& FAX 0743-55-2763

発行人：関西障害者定期刊行物協会
 住 所：〒543-0015
 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4F
 編集人：奈良県自閉症協会
 定 価：100円

